

池田一彌氏 鹿児島県発明協会会長賞を受賞

「土壌環境蘇生型農法」

生涯学習フェアにて、表彰伝達と講演



社団法人発明協会主催の「2011年度九州地方発明表彰」において有限会社アイドローの池田一彌代表取締役の「土壌環境蘇生型農法」が鹿児島県発明協会会長賞に選ばれたことを受け、生涯学習フェアにて、表彰の伝達と受賞の経緯と提言を演題とした講演が行われました。土壌環境蘇生型農法とは、アイドロー液を土壌に散布することで、悪臭を防ぎ、土壌改良の効果を高める農法で、与論町の堆肥センターでもその方法が採用され、全国的に大きく注目されています。池田氏は講演にて、開発に至ったきっかけと経緯を話され、最後に島の子供たちに向けて、「何かをやろうとしたとき、最後は自分との闘いとなります。その中で事を成し遂げる、その努力の中から本物が生まれてくるのです。」と強くエールを送りました。



「共に創ろう未来への架け橋〜元氣・チャレンジ・感動〜」の大会テーマのもと開催された、第6回与論町生涯学習フェア。会場の展示スペースには、公民館教室生徒による生け花や染色作品のほか、児童の作品も多数なら

れました。引き続き行われた公民館教室発表会・文化祭では、琉球舞踊や三味



公民館教室の作品も展示されました。

線、歌謡やダンスなど、日頃から練習の成果を披露。会場からは大きな拍手が上がりました。

「共に創ろう未来への架け橋〜元氣・チャレンジ・感動〜」

第6回与論町生涯学習フェア

12月18日

砂美地来館にて開催



14区間23.1kmを、たすきでつなぎました。

復帰前の苦しみを偲び、困難に打ち勝つ気力を養おう

11月27日 島内23・1キロコース

祖國復帰記念第30回与論町駅伝競走大会が開催され、各校区から計7チームが出場。小学生から成人まで各チーム男女14名がたすきをつなぎ、晩秋の与論島を駆け抜けました。今年の優勝は、与論A、2位は茶花南、3位は那間でした。選手の皆さん、応援していただいた皆さん、お疲れ様でした。



おしゃべりを楽しみながら歩くのも醍醐味。

第20回ヨロン・パナウル健康（ヘルス）ウォーク さわやかな季節。島の心と自然を堪能しよう！

11月13日 島内一周コース

今年、第20回目を迎えたヨロン・パナウル健康（ヘルス）ウォーク。今年は島内から201名、島外から42名が参加しました。参加者は、島内一周のコースを歩きながら、普段ゆつくり見る事のない景色を楽しんだり、休憩所に準備された島の特産品を味わったりと、島の心と自然を思う存分堪能しました。



特産品や水産加工品などが販売されました。

第27回産業まつり 島内農水産物・加工品などをPR

12月11日 コースタルリゾートにて

前日までの雨も上がり、会場には特産品や加工品、海産物や雑貨などの販売ブースが並び賑わいました。中でも、今年度「離島の活力再生支援事業」を受けて開発を進めている、与論の新品物料理「島の食材を使った味噌茶づけ」の試食コーナーには大勢の来場客が集まり、島の新しい味を試しました。

「地域経済が打撃を受けるのは明白」

12月16日 J A 選果場にて

会場となったJA選果場には、農業関係者ら多数が集結。「地域経済が打撃を受けるのは明白」との町長の挨拶に続き、関係者の意見表明の後、「国内甘味資源作物の生産基盤を守り、地域経済・社会の安全を確保する観点からTPPへの参加は断じて行わないよう強く要請する。」との決議が採択されました。



参加者は力強くガンバロー三唱をしました。